

No. 58

令和2年9月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurossi@vesta.ocn.ne.jp

http://www.shizu-roshikyo.jp/

しず老施協

巻頭言

新会長として

静岡県老施協の活動を通してより強い仲間意識を醸成したい



静岡県老人福祉施設協議会会長 種岡 養一
(特別養護老人ホーム西島寮施設長)

皆様こんにちは。この度、石川三義会長のご退任に伴いまして、本年4月より次期会長を拝命いたしました種岡養一でございます。私は33年前に自動車販売のセールスマンからこの業界に入りました。平成14年4月から県老施協の理事に就任して以来、さまざまな委員会活動を通じて、本会に関わらせていただきましたが、何分にもただただ体育会系の乗りと勢いだけでやってまいりましたので、石川前会長のようなアカデミックさや、重ねた年数に合った誇れる才知は持ち合わせておりません。これまでもそしてこれからも、関わる本会の方々からのご教示とご指南を受けながら歩むべき者でございます。会員皆さんのお声をいただきながら役割を果たして参りますので、よろしく願いいたします。

また石川前会長には、時宜を得た委員会の改変や高齢者福祉研究大会の創設等々、6期12年という長きにわたり県老施協の健全運営と多大な発展にご尽力いただきましたことに対し、心中より深く感謝申し上げます。

石川前会長には、これからも相談役として後方支援して下さいますことをご報告いたします。

さて、昨今の私たち老人福祉施設を取り巻く環境は、思いもよらない事に見舞われています。目に見えない敵、新型コロナウイルスの猛威により、日常生活に支障が出始め、施設運営にその影響が及び寄っています。ご利用者への影響が心配されますし、ただでさえ施設職員の確保が厳しい状況の中で、職員の配置への懸念

も増えています。毎年のように自然災害に見舞われてきた日本に、さらなる脅威となっており、経済への影響も深刻であります。経済の低迷による税収不足から来年の介護報酬改定に対して、多大なダメージを与えかねないのではと危惧しております。

また、自然災害に関しましては、先の令和2年7月豪雨災害に於いて、九州地方、特に熊本では特養施設で14名ものご利用者が亡くなるという辛く悲しい事態が発生しました。被災された方々に心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

昨今、地球温暖化に伴う気候変動によって、災害の規模は年々強大化しており、従来の災害対策をも見直さざるを得ないようになりました。これからまた台風が襲来する時期になることから、是非とも被害想定レベルを更に上げた対策へと再度検討と確認をお願いします。

そこでこのような中でも、静岡県老施協会員の皆さんのベクトルの方向を合わせて、相互理解の下、従来からの関係性をより深化させて、会員皆さんがひとつとなるよう願っております。仲間意識が強固なものとなり、如何なる状況にも対処出来る組織体となることを目指して、会務運営に努めてまいります。

新しい組織体制、新しい委員会運営を基盤とし、仲間を大切にしながら2年間の任期を一生懸命努めさせていただきますので、皆さんのご支援ご協力をよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について ～感染対策の徹底とサービスの質の確保に向けて～



静岡県健康福祉部福祉長寿局
福祉指導課長

沢井和昭

国内で確認された新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は4月中旬をピークに一旦減少し、5月25日に緊急事態宣言が全国で解除されましたが、6月下旬から再び増加傾向となっていて、現在、全国的に感染者数が増えてきています。

本県では、4月9日に社会福祉施設では初めて感染者が確認されましたが、皆様の御尽力によりまして、施設での集団感染は起きていません。一方で、各施設から、県内施設での感染症の発生や他県でのクラスターの発生を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の予防策や具体的な対応に加え、クラスター発生時に事業を継続する方法について、分かりやすく示して欲しいとの要望を頂きました。

このため、先般、皆様の御意見を頂きながら、「感染予防チェックリスト」と「感染が疑われる者等が発生したときの対応フロー」を作成しましたので、是非、定期的に職員の方々に確認していただくとともに、対応フローについては、スタッフルーム等へ掲示していただければと思います。

クラスター発生時における事業継続に当たっては、感染拡大時の稼働不能者を推計し、必ずやるべき業務と止める、あるいは縮小する業務を切り分けるといった「事業継続計画」を作っておくことが重要です。

現在、平成21年の新型インフルエンザ流行時に県老施協の皆様と共同で策定しました「事業継続計画作成マニュアル」の見直しを行っておりますので、見直しができ次第、お示しいたします。

また、県では、サービス継続の財政的な支援として、4月補正で新型コロナウイルス感染症発生時にサービスの継続を支援する事業と、6月補正で感染症対策と慰労金支給の緊急包括支援事業を予算措置しました。

サービス継続支援事業は、感染者が発生した介護施設、事業所に、消毒・清掃、衛生用品、人件費などサービス継続に要したかかり増し経費を助成するほか、感染者が発生したときの連携支援として、感染者が発生した介護施設等の利用者の受入れや、応援職員の派遣に要する経費を補助します。

緊急包括支援事業では、感染症対策を徹底するための経費として、各種物品の購入、外部専門家による研修の実施、多機能型簡易居室の設置などに係る経費を助成するほか、介護施設等に勤務し、利用者に接する職員を対象に、慰労金を支給いたします。

特に、緊急包括支援事業は、今後の感染症拡大に備えるためにも、できる限り、早期に執行していただくよう、御協力をお願いいたします。

今後、更なる感染拡大も予想される中で、新型コロナウイルス感染症が収束するまでには、まだまだ時間がかかるかと思えます。

それまでは、施設内外において、「密閉」、「密集」、「密接」の「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」をはじめとした基本的な感染対策の継続など「新しい生活様式」を定着させつつ、皆様のアイデアや工夫によって、利用者へのサービスの質の確保が図られることを期待しております。

感染予防チェックリスト【入所・居住系】		
確認事項	チェック	ポイント
基本		
感染制御の基本(病原体を①持ち込まない、②持ち出さない、③拡げない)を全職員へ理解させていますか	<input type="checkbox"/>	感染症は3つの要因(感染源、感染経路、宿主)が全て揃うことで感染します。
① 全職員に対し出勤前に体温を計測し、発熱等の症状がある場合は出勤しないことを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	解熱後、少なくとも24時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善するまで出勤させてはいけません。
② 病原体を施設に持ち込まない		
感染が疑われる職員がいる場合、相談センターに報告し、指示を受け		
全職員に対し職場はもとより、職場を徹底していますか		
面会や業者との物品の受け渡し等がありますか		
面会者等が施設内に入る場合は、体温の計測、行動履歴等のか		
③ 病原体を施設から持ち出さない		
石鹸による十分な手洗い、アルコールで拭いていますか		
日頃から入居者の健康状態の変化を確認していますか		
血液等の体液や嘔吐物、排泄物に、ティッシュやエプロンを着用		
食事前後や排泄後に、石鹸と流水のあるうエットティッシュでのふき取り		
④ 感染対策マニュアル等の更新や行っていますか		
⑤ 感染防止に向け、職員間での情報連携して取組を進めていますか		
⑥ 病原体を施設		
各所の換気や湿式清掃を実施し、行っていますか		

感染が疑われる者等が発生したときの対応フロー【入所・居住系】		
入居者	職員	
濃厚接触が疑われる者	感染が疑われる者	濃厚接触が疑われる者
<p>情報共有など</p> <ul style="list-style-type: none"> 速やかに施設長、看護師等へ報告し、施設内で情報共有する。 各保健所に設置の帰国者・接触者相談センターに連絡し、指示を受ける。 指定権者、保険者や家族へ報告する。 症状出現2日前からの濃厚接触が疑われる者の行動リストを作成する。 		
<p>消毒清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 居室及び利用した共有スペースの消毒・清掃を実施する。なお、保健所からの指示がある場合は従う。 手袋を着用し、トイレのドアノブや取手を消毒用エタノール又は次亜塩素酸ナトリウム液で清拭後、湿式清掃し、乾燥させる。 		
<p>調査協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所が迅速に積極的疫学調査を実施できるよう、可能な限りケア記録や面会等の情報の提供等を行うこと。 		
<p>保健所と相談の上、感染が疑われる者との最終接触から14日間は次の対応をとる。</p>		
<p>発熱等の症状がある場合、自宅待機。症状等によっては保健所の判断に従う。</p>		
<p>運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 直ちに個室に移動する。個室が足りない場合は、簡易除圧装置などを設置し、ウイルスの拡散を防ぐ。 個室管理ができない場合、入居者はマスク着用、ベッド間隔をできるだけだけあけ、カーテンで仕切る等で対応する。 ゾーニングを行い、清潔エリアと不潔エリアを明確にする。 換気(30分に1回以上、窓を全開にし、空気の全てを入れ替える)を行う。 		
<p>予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員は、使い捨て手袋とマスクを着用。飛沫感染のリスクが高い状況では、必要に応じてゴーグル、使い捨てエプロン、ガウン等を着用する。 職員は、手指消毒の前に顔(目・鼻・口)を触らないように注意し、ケアの開始と終了時に、石鹸と流水による十分な手洗い又は手指消毒を実施する。 当該入居者の介護等に当たっては、可能な限り担当職員の専任化を行い、体温計等の器具は、可能な限り専用とする。 当該入居者が部屋を出る場合はマスクを着用し、石鹸による手洗い、アルコール消毒を徹底する。 		
<p>ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事介助は、原則個室で行う。食事前後に入居者に対し、石鹸と流水による手洗い等を実施する。 食器は使い捨て容器を使用する。又は濃厚接触が疑われる者の食器を分けた上で、熱水洗浄可能な自動食器洗浄機を使用する。 使用するトイレは分ける。おむつ交換の際は、使い捨て手袋、マスク、エプロン等を着用する。また、おむつ等は感染性廃棄物として処理する。 入浴介助は、原則として清拭で対応する。 当該入居者のリネンや衣類については、熱水洗濯機等(80℃、10分間)で処理する。 		

特集2

静岡県社会福祉人材センター ～Withコロナ時代において～



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
静岡県社会福祉人材センター所長

田 光 祥 浩

静岡県社会福祉人材センターは、平成3年4月1日に設置され、草創・開拓期から、今日の充実・発展期にかけて29年の実績があります。

令和元年度の採用数は646人で、浜松市福祉人材バンクを含めた静岡県全体の採用数は841人となり、全国の福祉人材センターの中では、3年連続1位となっております。

主な事業としては、

まず、皆さんの事業所と求職者の橋渡しとしての無料職業紹介事業や「就職フェア」、「ミニ就職相談会」などの就職相談会

次に、若年層に対する福祉・介護の仕事のやりがいや魅力を知ってもらうため、事業所の皆様に講師をお願いしている小・中・高校への出前講座「福祉のお仕事魅力発見セミナー」や事業所に訪問させていただいている「福祉のしごと学び体験ツアー」

そして、職員の定着と資質向上のための研修である「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」や「認知症介護実践研修」などを開催し、福祉・介護人材の確保と定着を図っております。

また、本年度からは、外国人介護職員が職場環境に適応し、安心して働くことができるよう支援する「外国人介護人材サポート事業」を開始したところです。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、数多くの事業所の皆さんに出展していただく予定であった3月と6月の「就職フェア」、また、毎月開催している「ミニ就職相談会」などもやむなく中止させていただきました。

このようなコロナ禍において、求職者が直接話を聞ける機会が少ないことから、三密を避けるため「ミニ就職相談会」に代えて「個別就職相談会」を開催し、また、会場型の「就職&進学フェア」に代えて、WEBを利用した「令和2年度SHIZUOKA福祉の就職&進学フェア@WEB会場」を開催しました。

また、「福祉のしごと学び体験ツアー」については、事業所を訪問することが難しいため、WEBリモートを利用して見学させていただきました。

さらに、再開した小・中・高校では、エッセンシャルワークとしての福祉・介護職のアピールを引続き出前講座において行っています。

今後も、Withコロナ時代に適した事業を導入することで、皆様の事業所とともに福祉・介護人材の確保を図ってまいりますので、御協力をお願いします。

最後に、社会福祉人材センターは、静岡県総合社会福祉会館シズウェル3階の静岡県老人福祉施設協議会の事務局と同じフロアにありますので、お越しの際には、お気軽にお立ち寄りください。



「新型コロナウイルスに関する緊急アンケート」について



企画経営委員会委員長

大塚 芳正

(特別養護老人ホームすどの杜施設長)

アンケートの実施について

「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出された令和2年4月7日には、すでに複数の都道府県で介護事業所の感染例が報告されていました。企画経営委員会では、静岡県老人福祉施設協議会として行動を起こす必要があると判断し、緊急のアンケート調査を行うこととしました。以下にその結果のまとめと要望活動について記載します。

また、このアンケートの報告はこの記事の掲載をもって代えさせていただきたいと考えます。それは、このアンケートはほとんど文字による回答のためまとめが冗長となり、そのまま会員に配布するには適切さに欠けると判断されること、新型コロナについての社会状況は変化が目まぐるしく現時点では既に認識と課題にずれが生じていると思われること、後述するようにこのアンケートが行政への働きかけの資料として有効に活用できたこと、などが理由となります。

結果のまとめ

アンケート実施期間は4月17日～5月8日、回答率は62.7% (190/303施設) でした。表に示すように、施設運営上で困っていることは、多くの施設で「必要物品の不足」と「感染者発生時の施設運営」であり、次いで「職員の不安や動揺への対策」と「職員の感染防止の対策」と続いています。

言葉による回答では、具体的な感染情報がないことの不安、感染防止のための資材調達への便宜、在宅サービスの利用を控える利用者多くなってきていること、資金不足への対応、コロナ感染発生時の対応方法やモデルマニュアル等の依頼、介護施設職員のPCR検査の優先の要望などが多く挙げられました。

表 施設運営上困っていること

項目	施設数	%
必要な情報の不足や整理	64	33.7%
日々の職員の確保	32	16.8%
職員の不安や動揺への対策	92	48.4%
職員の感染防止の対策	90	47.4%
必用物品の不足	150	78.9%
利用者の減少	41	21.6%
感染防止の対策	66	34.7%
感染者発生時の施設運営	139	73.2%
行政との連携	23	12.1%
運転資金の不足	7	3.7%
その他	20	10.5%
特にない	2	1.1%
回答事業所数	190	

議員及び行政への働きかけ

昨年度、静岡県老人福祉施設協議会として自民党県議会議員に対して議員連盟の結成を働きかけし、本年2月に自民党県議の全議員が参画して「自由民主党安心して過ごせる高齢者施設を考える議員連盟」が発足することとなりました。今回、その議連と新型コロナ対策に関しての意見交換を5月14日に行うこととなり、これが初会合となりました。会合では議連の会長・副会長・事務局、静岡県老施協からは会長・副会長・相談役等、オブザーバーとして静岡県から福祉指導課から担当職員が参加し、意見交換が行われました。

内容としてはアンケート結果を概観し、以下について要望しました。

- ① 感染予防のための衛生材料等の提供
- ② 介護施設職員のPCR検査の優先的な実施
- ③ 介護サービスの利用控えに対する資金不足の対策
- ④ コロナ感染時の対応の資料として、感染が発生した施設への行政による聞き取り調査

上記の④については、静岡県として、感染施設が発生した各都道府県また可能であれば施設に問い合わせし、その対応状況をまとめるように要望しました。その後、感染症発生時のBCPあるいはコロナ対応マニュアルとして生かしていく方向で作業しています。この事例は、静岡県老施協と静岡県行政との協働としてよいモデルになるのではないかと思います。

また、6月8日に大口善徳前厚生労働副大臣及び静岡県公明党県議団とのWeb会議を行いました。静岡県老施協からは会長・副会長・相談役等が参加し、自民党と同様の意見及び要望を行いました。結果として、その後の厚生労働省の対応に反映されており、静岡県老施協の意見が有意義だったものと考えられました。

さらに、7月31日に静岡県議員会派ふじのくに県民クラブとの意見交換があり、同様の意見交換を行いました。

今後について

新型コロナウイルスの猛威は当分続くのではないかとこの恐れがあります。これからも静岡県の介護施設での発生がないことが望ましいですが、完全な予防は難しいと思われます。今後の様々な課題に対し、静岡県老施協は業界団体として必要な対応を適宜行っていくことが必要であると考えます。

特集4

会員施設における Webシステムアンケート結果



研修委員会委員長

飯塚辰也

(特別養護老人ホーム松寿園施設長)

今年度、県老協研修委員会としましては、『新たな研修の在り方』を確立していきたくと考えています。例えば、従来のような集合研修については、会場に対して参加人数を半分以下にし、ソーシャルディスタンスを確保した上で密にならない形で研修会を行う。また、Web研修についても、「LIVE配信」や、いつでも誰でも観られる「動画配信」があり、集合研修に比べて臨場感には欠けるが「研修会場までの移動がない」「大勢の人が研修に参加できる」等のメリットもある。

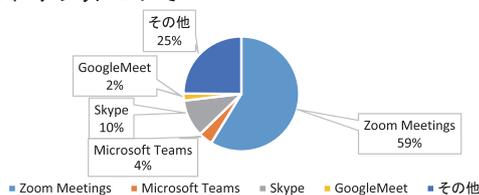
そのため先般、県老協広報委員会と連携し、会員施設に対し「Webシステムについて」のアンケートを取らせていただきました。

会員施設の皆様には大変お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。

調査項目は、全部で11項目となります。

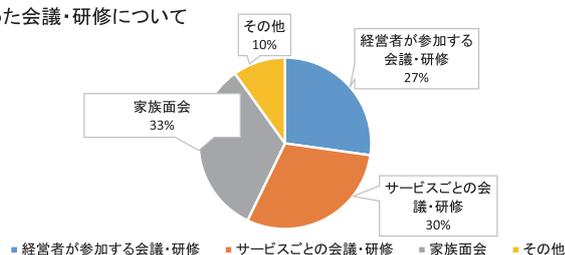
- 問1 「提供しているサービス」は、特別養護老人ホームが40%、次いでデイサービスが24%でした。
- 問2 「Webシステムを活用した会議や面会・研修の導入」は、はい59%、いいえ41%と、導入されている施設の方が若干多かったです。
- 問3 Web未導入施設に「今後導入予定はありますか」は、1～2ヶ月以内と3～半年以内が15%と同率でした。また、未定と回答された施設が63%もありました。
- 問4 「Web責任者を配置又は予定はありますか」は、配置している施設は相談員が15%、介護職員が2%でした。予定施設は相談員が9%、介護職員が2%でした。Web責任者を配置又は予定のない施設がほとんどでした。
- 問5 「Webのソフトは何を使用又は検討していますか」は、Zoomが59%と半数以上を占めており、次いでSkypeが10%という状況でした。

使用ソフト・アプリについて



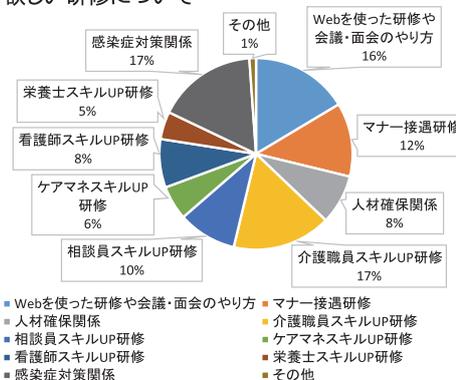
- 問6 「Webシステムを導入して行った会議・研修など」は、家族面会が33%と一番多く、次いでサービスごとの会議・研修が30%、経営者が参加する会議・研修が27%でした。

行った会議・研修について



- 問7 「使ってみての不具合など」は、音声途切れる等の音声関係が37%、次いで映像が乱れる等の映像関係が21%、職員等が扱えないが18%でした。
- 問8 「会議、面会、研修などができる場所」は、決まった場所ではできないが70%超でした。
- 問9 「補助金制度があれば導入、増設等を検討しますか」は、利用するが82%超でした。
- 問10 「企画して欲しい研修など」は、感染症対策、介護職員スキルアップ研修、Webを使った研修や会議・面会のやり方が16%超と多かったです。

企画して欲しい研修について



- 問11 「研修委員会に対してのご意見・ご要望」については、

《主な意見》

- ・職員を外部に出す研修は、人材不足によりできないが、Web研修であれば決まった時間の中で1～2時間位、何人かで受講できるのでそのような研修を増やして欲しい。
 - ・当分の間、研修や会議はWebでお願いします。WebもPCと同じように最低限のスキルになってきています。
 - ・基本、研修・会議はWebを利用すべき。研修場所への移動時間・費用を削減できる。いつでも見られる環境があれば、潜在的に参加したいと思っている人も参加できる等メリットの方が大きい。
 - ・静岡県老協会員施設を対象に、研修に関する「サブスクリプション制度」を導入し、一定の会費を払えばZoom等を活用し施設に居ながら研修を受講できるようにしてほしい。
 - ・支部活動における研修開催企画に対して、情報提供やアドバイス等ご支援をいただけるとありがたいです。
 - ・感染症対策を考え、密集・密接しなくても行える研修が求められることが続くと思います。動画やWebでは物足りない研修もあるが、多くの職員が見られるという参加の方法も有効かと考えます。
 - ・研修委員会のリスクを減らした研修の提供の試みに賛同致します。
- 等々、大変多くのご意見をいただき、ありがとうございました。皆様からのご意見を踏まえ、今後の研修会に活かして行きたいと思っております。
- これからも、会員の皆様のご意見・ご協力をよろしくお願いいたします。

静岡県老施協中部支部の活動紹介

コロナ禍での新卒採用の取り組み

特別養護老人ホーム 白扇閣

今号の支部紹介は静岡新聞にもその取り組みが紹介された静岡市清水区にあります「特別養護老人ホーム 白扇閣」にて特別企画「コロナ禍での新卒採用の取り組み」を行いました。

・コロナ禍の中で就職フェアや施設見学の課題は？

今年は、就職フェアの中止、学校訪問や施設見学会も自粛している中、今までに相談のあった学生さんや新たな学生さんへのアプローチをどうするかが課題でした。

介護記録の電子化でipadは導入していましたので、ipadで動画を見ながら、施設を紹介したり面接を行っていかうという話になりました。

・就職フェアの中止が相次いでおりますが、施設紹介の取り組みを教えてください？

昨年からホームページ強化と求人冊子の作成のため、施設紹介の撮影を始めたものの、感染防止の為、撮影がストップになってところで、この際、感染防止策を厳重にしながら、撮影を再開することになりました。

撮影はフロア内へは入らず、ご利用者との接触もせずにおこないました。すべての撮影は7日間にもなりました。

・新卒の施設見学をどのようにしているのか教えてください

施設見学は基本インターネットで行っております。

使用するのは、Zoomです。学生さんの希望の時間や職種に合わせ、多くの施設紹介動画の中からピックアップし説明をします。

施設全景は、ドローンで撮影。居室やフロアは、入室できない為、撮っておいた写真を使用します。

・動画などの内容を教えてください？

自分の施設に入職しなくても、「介護の仕事のや



(オンライン就職説明会の様子)

りがい」を知っていただきこの業界に入っていたきたいと思い、介護に興味を持っていただけるようなものにしました。

主なものとして、ipadでの介護記録、インカム、眠りスキャン、勤怠ソフトなど最新のICT機器、移乗サポートロボットHugやマッスルスーツ導入、必要な入居者へ一人1枚購入したスライディングボードなど豊富な介護用品

資格がなくても働きながら施設内で学べる介護福祉士実務者研修

休憩室（コーヒーサーバーやソフトクリームメーカー、マッサージ機、書籍など）の説明

また、プライベートの充実（エスパルスドリームプラザでの撮影・自家用車での撮影等）

職場結婚したことなどです。

・動画などは役職がメインのですか？

親近感を持っていただく為に、ここ3年位で入った職員を中心に撮影をしました。若い職員の記念にもなりますので、20名もの出演になりました。県内の学校を卒業した職員ですので、問い合わせのあった学生さんの出身学校にあわせた、先輩職員の動画で説明することも出来ます。

・撮影などで苦労した点や今後の課題はありますか？

撮影していくうちに、日数も増え、費用は掛かりましたが、ちょうどWEB就職フェアの案内もあり、動画をストックしておくことで、今後、地域、学校での説明会などいろんなことに使えそうです。

求人冊子は、介護施設を感じさせないファッション雑誌風に作成しました。とにかく興味を持っていただくことが重要だと考えました。

ベースができましたので、来年からは、入職していただいた学生さんたちの撮影の追加だけで済みそうです。



(プライベートの写真撮影)

・PCやタブレットは増やしましたか？

使用する機器は、介護記録に使用しているipadは使えませんので、オンライン面会での使用と合わせ6台を契約、セキュリティを考え施設内Wi-Fiは使用しませんでした。空いている時間は福利厚生として、休憩室で職員がインターネットや電子書籍に使っています。

今年も多くの学生さんに見学をして頂き、就職していただけることを楽しみにしています。

今日は良いお話を聴かせていただきありがとうございました。



(施設内での動画撮影)



新人職員紹介

各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

みくらの里

(下田市)

- ① 辻 春香（介護職員）
- ② サボテンに花が咲いたこと
- ③ Suchmos（アーティスト）
- ④ 貯金と家族やお世話になった人達と山分けする
- ⑤ ご利用者様が安心して来て、笑顔が溢れる施設にしたい
- ⑥ 雰囲気良く、自然豊かな環境が良かったため



すどの杜

(富士市)

- ① ダム・ティ・タイン・トゥイー（ベトナム人）
- ② 富士市に住んでいるベトナム人の友達ができたこと
- ③ 羽生結弦
- ④ ベトナムの家を建てて家族と旅行する
- ⑤ 働きやすくて、いつも笑顔で過ごしている職場にしていきたいです。
- ⑥ EPAのマッチングで施設の職員さんにあいました。その職員さんがかわいくていつも笑顔で話してくれたから美芳会の施設が気になって選びました。



まごころタウン*静岡

(静岡市)

- ① 中澤史茄（介護スタッフ）
- ② いい先輩に出会えたこと
- ③ back number
- ④ ディズニーホテル制覇したいです！
- ⑤ ご利用者様本位の穏やかな空間にしていきたいために、微力ながら尽力したいと思います。
- ⑥ ご利用者様への細やかな気配りが見学で見え、非常に魅力的に感じられ、入職をきめました。



海山荘

(牧之原市)

- ① 山崎怜子（介護職員）
- ② メロンを頂いて食べたこと
- ③ モーニング娘。'20
- ④ とりあえず貯金する
- ⑤ 入居者様に良い人生だったと思ってもらえるような居場所にしていきたい
- ⑥ 高校生の時にボランティアで訪れ、その際に職員の方に優しくしていただいたこと。そして就活のイベントでブースを訪れた際に私のことを覚えて下さったこと。



鶴寿の里

(浜松市)

- ① 伊藤エミ（ケアスタッフ）
- ② 今年の1月に10年ぶりに故郷の種子島に帰郷し、祖母に会えたこと
- ③ 武 尊（K-1選手）
- ④ 海が見渡せる丘に小さな家を建てて、馬とヤギと犬を放牧する
- ⑤ 今のままで十分過ぎる職場ですが、利用者様が鶴寿の里に来て良かったよ、と言われるような施設にしたいです
- ⑥ 施設案内をしてくださった施設長さんが、偶然にも前の職場のお客様で運命を感じ、こちらの施設に決めました★



ケアハウス花

(浜松市)

- ① 高杉弘美（ケアワーカー）
- ② 子供の背が自分をこえたこと
- ③ 市原隼人さん
- ④ 車を買いたい。旅行にも行きたい。
- ⑤ 入居者様が安心して笑顔で暮らせる家にできたらよいと思う。
- ⑥ 家から近く通いやすく、とてもきれいな施設で働きやすそうだったから。



どうぞよろしくお願ひします

新委員長紹介

令和2年度から委員長に就任した委員長を紹介します

広報委員会

ケアハウスわだの里 倉田 聡



令和2年4月より広報委員会でも委員長をやらせていただくことになりました倉田と申します。広報委員会では年3回の広報紙「しず老施協」の発行と「静岡県老人福祉施設協議会ホームページ」を中心に活動しております。今年で3年目の若い委員会ですが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止を踏まえ、新しい情報発信のスタイルを各委員会と考え、連携を図り会員の皆様にフレッシュにお伝えできるように活動してまいります。宜しくお願ひ致します。

研修委員会

松寿園 飯塚 辰也



令和2年度より、県老施協研修委員長を拝命しました特養松寿園の飯塚と申します。前研修委員長の及川さんが退任をされたため、私が後任として研修委員長となりました。これまで6年間は、研修委員として委員長の下で活動してきましたが、これからは委員会の舵取り役という重責を担うことになり身の引き締まる思いです。なにぶん初めてのため、至らない点もあるかと思いますが、力の限りを尽くす決意ですので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

養護委員会

奥山老人ホーム 峰野 政博



養護老人ホームは、近年定員割れの施設の増加に加え、入所者の重度化が進み、非常に厳しい経営環境の中にいます。平成26年度から会員施設の実態調査を開始し県内36市町の調査と併せて全国老施協の調査とともに各方面にご支援をお願いしているところです。本年度は、これまでに蓄積したデータをさらに発展させて会員施設の発展に寄与してまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

特養委員会

浜北愛光園 弓桁 智浩



この度、令和2年4月1日付をもちまして特養委員会 委員長を拝命致しました特別養護老人ホーム 浜北愛光園の弓桁智浩です。新型コロナウイルスのような未知の感染症や予測外の災害等が発生しても、ご利用者をはじめ地域の方々にとって、一番安全で安心な特別養護老人ホームで在り続けられるように特養委員会に課せられた役割を全うしていく所存です。会員の皆様におかれましては、今後共一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

21世紀委員会

平成の杜 若林 久美子



今期、静岡県老人福祉施設協議会21世紀委員会委員長を仰せつかりました、特別養護老人ホーム・養護老人ホーム平成の杜施設長若林久美子でございます。新型コロナウイルスや自然災害との戦いの中、できる活動は限られてしまうと思いますが、これまで、21世紀委員の皆さんが取り組んできた様々な活動を、今年は少し形を変えて継続できればと思います。現場で働く若い委員の皆さんの発想力、想像力豊かな意見を大切に、2年間楽しく活動していきたいと思ひますのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

令和2年春の叙勲で石川相談役が「瑞宝双光章」を受章

本会の前会長で現在は相談役の石川三義氏が、令和2年春の叙勲において瑞宝双光章を受章されました。

石川相談役は、社会福祉法人春風会理事長兼特別養護老人ホームあしたかホーム施設長をされており、平成20年4月から本年3月まで12年間に亘り本会会長を務められました。今回の受章は当会にとりまして大変名誉であり、心からお祝い申し上げます。



令和2年度老施協活動報告（令和2年4月1日～8月31日）

【老施協】

- ★4月10日、5月14日、6月30日、7月31日
正副会長会議
会運営方針の協議等
- ★5月28日 監事監査
令和元年度事業報告・収支決算等
- ★5月28日 第1回理事会
理事・委員会委員の補欠の選任、令和元年度事業報告案及び収支決算案等の審議
- ★6月30日 第1回総会
理事の補欠の選任、令和元年度事業報告案及び収支決算案等の審議
第11回静岡県高齢者福祉研究大会中止の報告
- ★6月30日 第1回事業推進検討会議
各支部、各委員会活動計画報告と意見交換
- ★8月27日 第2回理事会
会長表彰受賞者の決定、感染施設への応援体制審議
- ★8月27日 県福祉長寿局との懇談会(意見・要望活動)
- ★8月27日 出野県副知事への要望活動(相談役・正副会長)
- ※新型コロナウイルス感染症対策
 - 4月30日 県への緊急提案・要望(県社協まとめ)
 - 政党への要望活動
 - 5月14日 自由民主党(県議会)
 - 6月8日 公明党県本部(オンライン)
 - 7月31日 ふじのくに県民クラブ(県議会)
 - 7月22日 全国老施協からの衛生用品の備蓄(各支部保管)
 - 8月18日 第1回感染施設応援体制検討会議

【企画経営委員会】

- ★4月16日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画等の協議
- ※4/17～5/8 新型コロナウイルスに関する緊急アンケートの実施

- ★6月3日 第2回委員会
県要望活動の調整・新型コロナウイルス感染症対策の検討
- ★7月29日 第3回委員会
県要望活動の調整、新型コロナウイルス感染症対策の検討

【広報委員会】

- ★6月25日 第1回委員会
委員会の体制(役割分担)、『しず老施協』第58号の企画、ホームページ

【研修委員会】

- ★6月10日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画
- ★7月10日 第2回委員会
新しい研修のあり方、実施方法の検討(WE Bシステムアンケート)等

【21世紀委員会】

- ★6月26日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★6月5日 第1回委員会
今年度研究大会の中止、委員任期の1年延期、次回研究大会の概要、今後のスケジュール

【養護委員会】

- ★4月10日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画

【特養委員会】

- ★6月19日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画(待機者状況調査、人材調査)
特養魅力発見チラシ

【地域ケア委員会】

- ★6月24日 第1回委員会
令和元年度活動実績、令和2年度活動計画、県福祉長寿局との懇談会での意見・要望

編集後記

『公園を歩いていた小さな子が転んで泣き出しました。すると、4歳くらいの女の子が駆け寄ってきました。小さな子を助け起こすのかと思って見ていたら、女の子は、小さな子の傍らに自分も腹ばいになって横たわり、にっこりと、その小さな子に笑いかけたので

す。泣いていた小さな子も、つられてにっこりしました。しばらくして、女の子が「起きようね」というと、小さな子は「うん」といって起き上がり、二人は手をつないで歩いていきました——。』感慨深い記事でした。(安河)